HJ−8642

取扱説明書

要 保 存

このたびはヘルスジョガーを
お買い上げ頂きましてありがとうございます。
安全に正しくお使いしていただく為、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
本書はいつも手元においてご使用ください。

本機は**家庭用**です。学校、スポーツジム等、

不特定多数の方々がご利用になる場所ではご使用にならないで下さい。

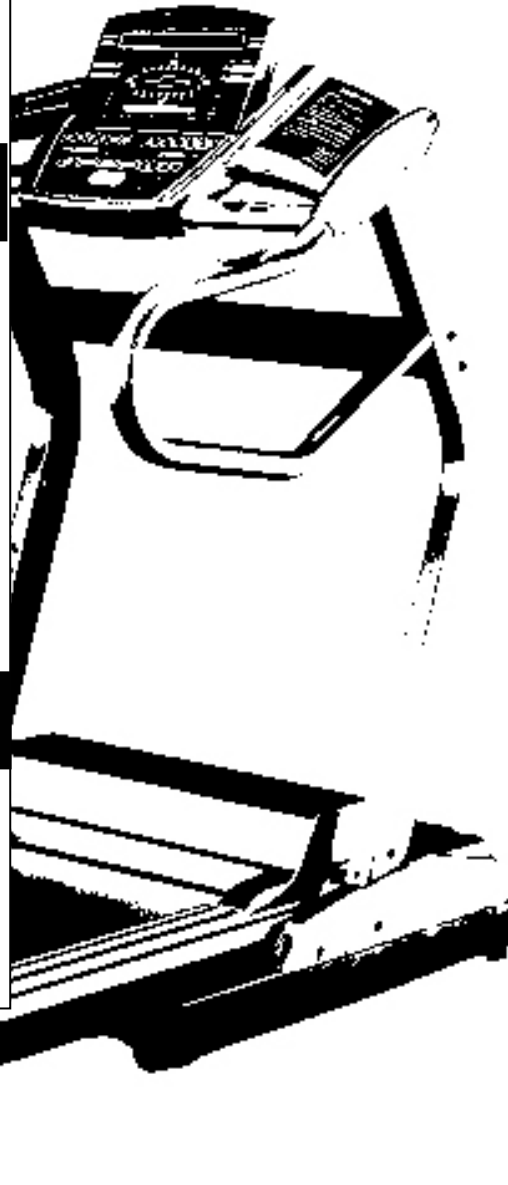
（**保証対象外**となります。）

設置場所は水平な床の上に置き充分なスペースを取ってください。
テレビ等電磁波の発生する機器より２メートル以上離した所に置いてください。
連続使用時間は１時間以内でご使用ください。

目次

ご使用前に

使い方

困ったときに・仕様書

安全上のご注意１　お使いになる前によくお読みください

- ここに示した警告サインと図記の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる人や、他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するためのものです。
- 表示と意味は次のようになっています。

警告サイン	内　容
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠ 警告	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害☆の発生が想定される内容を示します。

☆物的損害とは、家屋･家財および家畜･ペットに関わる拡大損害を示します。

図記号の例	
	△記号は注意(警告を含む)を表示します。 具体的な注意内容は、 △の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“感電注意”を示します。
	⃠記号は禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、 ⃠の中や近くに文章や絵で示します。
	●記号は強制(必ず守こと)を示します。 具体的な強制内容は、 ●の中や近くに文章や絵で示します。 左図の場合は“一般的な強制”を示します。

●健康を害することのないために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告	
本機は、健康な人を対象とした商品です。 心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リウマチ、痛風、妊娠中のかた、その他病気や障害のあるかた、リハビリを目的とするかた必ず医師と相談のうえ使用してください。 ・事故や体調不良をおこす原因となります。	●
運動中、身体に異常（めまい、冷や汗、吐き気、脈拍の乱れ、動悸など）を感じたときは、ただちに運動をやめてください。 ・健康を害する恐れがあります。	⃠

⚠ 注意	
運動前のウォーミングアップ、運動後のクールダウンは必ずおこなってください。 ・健康を害する恐れがあります。	●
日頃、運動していないかたは、徐々に運動強度を上げるようにしてください。 ・ケガや健康を害する恐れがあります。	●
飲食後や疲労時、運動直後、または体力の状態が平常でないときは、運動をおこなわないでください。 ・健康を害する恐れがあります。	⃠

●本機を安全に使用していただくために必ず守っていただきたいこと

⚠ 注意	
本機は、取扱説明書に従って正しく使用してください。 ・ケガをする恐れがあります。	
ベルトが一方に片寄ってきたり、はずれそうになったときは、使用を中止し、ただちにベルト調整ネジで調整してください。 ・ケガをする恐れがあります。	

⚠ 注意	
ご使用前に、ベルトに亀裂や摩擦などの変化がないか、接地部のがたつきや、ハンドルなどの接合部に異常がないか確認してから使用してください。 ・使用中に破損すると危険です。	
乗降する場合などにハンドルにもたれかからないように、注意してください。 ・転倒やケガをする恐れがあります。	

安全上のご注意２

⚠ 注意	
運動に適した服装で使用してください。回転、駆動部に巻き込まれる恐れがあるため、ひも類のない服装にしてください。 ・ケガをする恐れがあります。 ・衣服を損傷する恐れがあります。	
本機は、運動に適した靴を履いて使用してください。 ・ケガをする恐れがあります。	
トレーニング中は必ず安全キーを使用してください。 ・事故を誘発する恐れがあります。	❗
ベルト幅の中央を歩いてください。 ・ベルトの端や左右に片寄って歩くとベルトの片寄りや摩耗、破損の原因となり、ケガをする恐れがあります。	
動かない場合や異常を感じたときは、使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグを抜き、本社お客様サービスセンターへ修理の依頼をしてください。(電話番号 052-501-2577)	

⚠ 注意	
最大使用体重は 120kg です。体重が 120kg を超えるかたは使用しないでください。 ・使用中、破損する恐れがあります。 ・安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。	
同時に 2 人以上で使用しないでください。 ・ケガをする恐れがあります。	
本機は、別の用途に使用しないでください。 ・ケガをする恐れがあります。	
走行中、歩行デッキに飛び乗ったり、飛び降りたりしないでください。また、トレーニング中に本機を動かしたり、周囲の人が使用者を押したりしないでください。 ・事故の誘発や転倒の恐れがあります。	❗
トレーニング中、ベルトの走行方向に対し逆方向につっぱったり、足をひきずるような歩行はしないでください。 ・ベルトに無理な力がかかり、安全装置が作動し、ベルトが急に停止する恐れがあります。	
ベルト調整中はベルトに触れないでください。 ・ケガをする恐れがあります。	
分解や修理、改造をおこなわないでください。 ・発火したり、故障や事故の原因となります。	

●お子様の事故やケガを防ぐために必ず守っていただきたいこと

⚠ 警告	
開梱したときにでるビニール袋で遊ばないようにしてください。 ・窒息する恐れがあります。	

⚠ 警告	
使用中、本機の周りにお子様近づけないでください。 ・ケガをする恐れがあります。	

安全上のご注意３

⚠ 警告

保護者のかたは、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。

本機を使用しないときは、お子様がぶらさがったり、寄りかかったりしないように注意してください。

・ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

お子様が保護者の指導監督なしに勝手に乗ったり、さわったり、使用しないようご注意ください。

・ケガをする恐れがあります。

●設置や移動するときに必ず守っていただきたいこと

（テレビ等電磁波の発生する機器より２メートル以上離れた場所に設置してください。）

⚠ 注意

乗り降りや運動に十分なスペースを確保してください。

・事故の誘発や転倒の恐れがあります。

水平な堅い床の上に設置してください。

・転倒してケガをする恐れがあります。
・本機が沈み込み、畳、じゅうたんにベルトがすれて損傷したり、摩擦熱で発火、発煙の恐れがあります。

表示ユニットを取り付けている固定用ネジやスタンドの取り付けネジが確実に取り付けができているか、また、調整部が適切に調整されているか、必ず確認してください。

・ネジがゆるんだまま本機を使用すると、ケガをする恐れがあります。

本機の下に破れにくく、滑りにくいシートなどを敷いてください。

・本機がシートの上で滑り、転倒してケガをする恐れがあります。
・床面を傷つけたり、汚したりする恐れがあります

電源プラグや電源コードは濡れたり燃えやすい物が近くにないことを確認して使用してください。

・感電、発火の原因になります。

歩行デッキを折りたたむときや倒すときは、電源プラグを抜いてください。

・事故の誘発やケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

設置や移動するときは、電源プラグを抜いてください。

・感電する恐れがあります。
・事故の誘発やケガをする恐れがあります。

移動時には、歩行デッキが折りたたみ止め具でしっかりと固定されていることを確認してください。

・転倒やケガの恐れがあります。

歩行デッキを折りたたむときや倒すときは必ずデッキの後をもってください。

・事故の誘発やケガをする恐れがあります。

本機を手前に傾けるときは、ハンドルの手前湾曲部を持ってください。

・歩行デッキが手前に動き指を挟んでケガをする恐れがあります。

屋外や浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管しないでください。

・感電する恐れがあります。
・さびが発生したり故障の原因になる恐れがあります。

ベルト面が直射日光にあたる場所や、高温の場所には設置しないでください。

・ベルト劣化の原因になります.
·カバー等が変形することがあります。

本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり、支えたりしないでください。

・腰痛やケガの恐れがあります。

●電源の取り扱いについて必ず守っていただきたいこと

警告

電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
・感電やケガをする恐れがあります。

電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
・感電やケガをする恐れがあります。

注意

電源プラグはホコリを拭きとり、コンセントにしっかり根元まで差し込んでください。
・感電、ショート、発火の原因になります。
・使用中に電源プラグが抜けると急にベルトが停止し、ケガをする恐れがあります。

使用後は電源スイッチを切り、使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。

事故やトラブルにつながる恐れがあります。

電源は必ず交流１００Ｖ１５Ａの容量の単独回路にてご使用してください。
・火災や感電の原因になります。

タコ足配線は,しないでください。
・火災や感電の原因になります。

注意

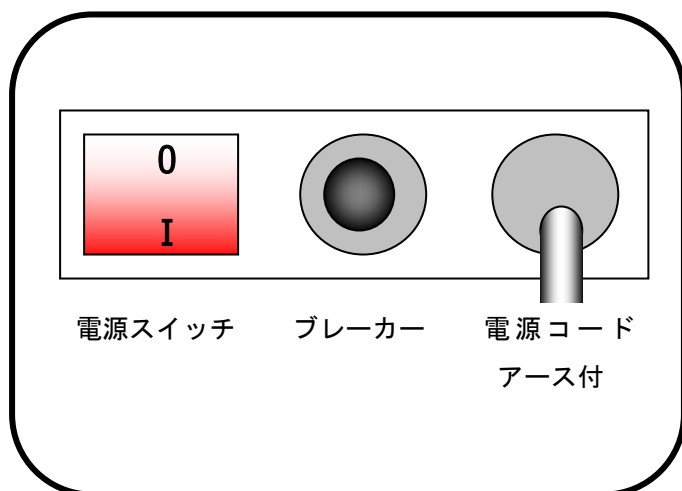
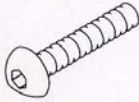
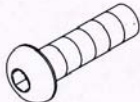
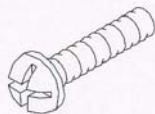
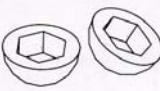
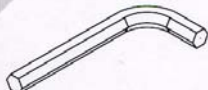
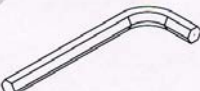
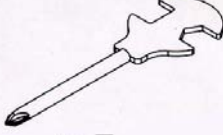
電源プラグを引き抜くときは電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
・電源コードが断線やショートして火災や感電の原因になります。

アースは確実に取り付けてください。また、ガス管や水道管には絶対にアース線を接続しないでください。アース線を接続するときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
・静電気や故障のときの感電防止のために、アースは必ず取り付けてください。アースの取り付けは、お買い上げの販売店、電気工事店へご相談ください。
(取り付け工事は有料です)

お願い

・本機を火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。
・本機の表示ユニットは精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり振動の加わる場所での使用は避けてください。(動作が不安定になったり破損する場合があります。)
・本機の使用環境温度は+10~+35℃です。
この温度範囲外での使用は避けてください。
（故障の原因になります。）
・運動中は、たばこを吸わないでください。
・歩行デッキやベルトのすきまなどに異物を入れないでください。特にお子様のいるご家庭は注意してください。（異物が入ったままで使用すると故障の原因になります。）
・本機を廃棄するときはお住まいの市区町村の指導に従って処分してください。
（環境汚染の恐れがあります。）

各部の名称

コントロールパネル
スピードアップ・ダウンボタン
脈拍センサー
傾斜アップ・ダウンボタン
手すり左
安全キー
支柱
補強バー
走行ベルト
走行部
モーターカバー
サイドステップ左
エンドカバー左
スタンド
移動用キャスター
サイドステップ右
走行ベルト調整ボルト
エンドカバー右

電源は必ず 100V15A を使用しタコ足配線はしないで下さい。
電源コードは約 1.6m です。
延長コードを使用される場合は１５００Ｗの容量で３ｍ以内のものをご利用ください。
単独回路にて、ご使用してください！

組み立て前に部品の内容をご確認下さい

部品とパーツ識別表

※万一部品が不足していた場合は販売店へご連絡してください

組 み 立 て 方 法

大人二人で組み立ててください。

組立を始まる前の注意事項

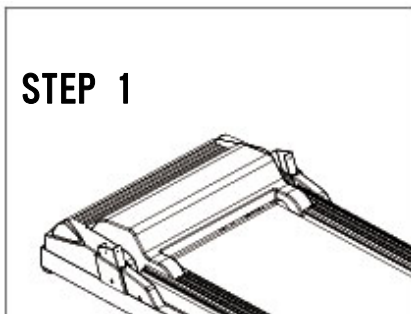
◎ 組立を始める前に一通り‘組立方法’をお読みになり、確認しながら順番に組み立てて下さい。

◎ ボルトは初めから強く(固定)締め付けずに仮止めし、組立が完了した段階で強く締めてください。

◎ 設置に十分なスペースを確保してください。

◎ 水平な堅い床に設置してください。

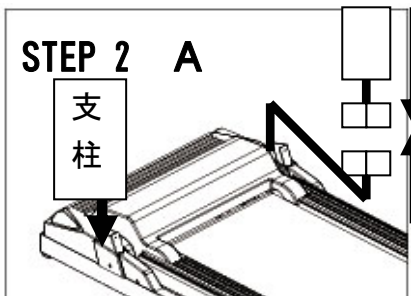
◎ 床面を傷つけたりしないよう破れにくいシート又はゴムマットなどを敷いてください。

◎ 本体が重いので2人以上で組み立ててください。

ステップ1開梱部品の確認

1：箱を開けて本体・手すり・コントロールパネル・部品等を取り出します。

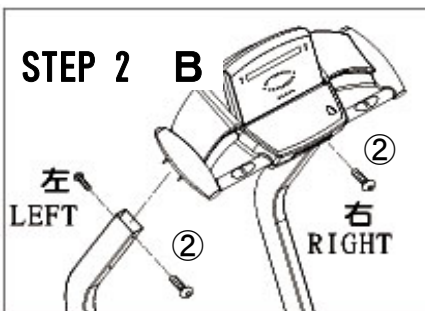
注意！！

開ける際にハサミ・ナイフなどでケガをしないように十分注意してください

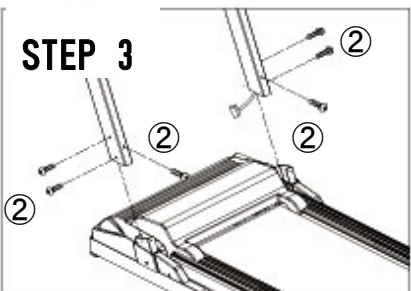
支柱とコントロールパネル取付　　⑥ 5㎜　L型レンチを使用

ステップ2 A

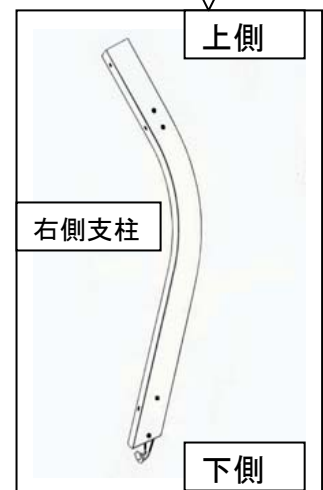
1. 右側支柱の下部のコードソケットを本体右側の支柱孔から出るコードに接続し支柱にコードを挟み込まないように十分注意して支柱を差し込む

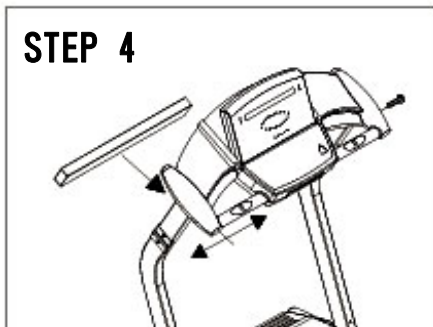
★支柱下側のコード固定ロックバンドは先に切る

2. 左側の支柱を本体に差し込みます。

ステップ 2B

1. コントロールパネルの右側のコードソケットを下からのソケットに接続する。
支柱上側のコード固定ロックバンドを切る。コードをフレーム内に収める。

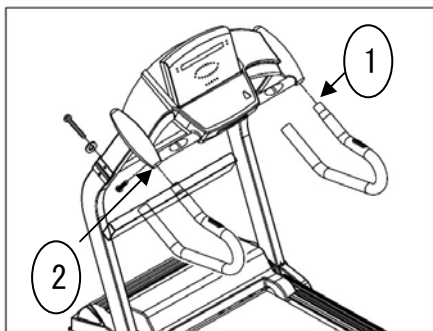
2. コントロールパネル下側をボルト②×４本で仮に固定します。

ステップ 3

1. 支柱下部をボルト②×６本で仮に固定します。
（外側2本　手前1本×両側）

組 み 立 て 方 法

大人二人で組み立ててください。

ステップ４

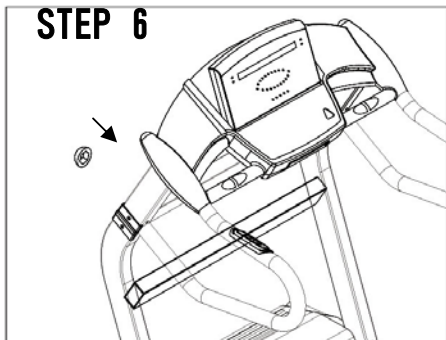
支柱に補強バーを取付。⑥5㎜　Ｌ型レンチ使用

1. 補強バーを左右の支柱固定ボルトの孔の位置に合わせスペーサー⑨×4 ケの中にボルト①×4 本を入れ固定します。

STEP 5

ステップ５

左右の手すりを支柱に固定。⑧工具使用。

- **コードは手すり側に入れ、はさまないように注意！**
- **ボルトは、はじめ仮締めする**

1. 右手すり（R：スピードスイッチ）側をコントロールパネルのコードと接続して差込み、コントロールパネル裏側から③十字ボルト×１本で右の手すりを固定します。次に手すり下側の孔に六角ボルト④×1 本とワッシャー×1 枚で支柱に固定します。
2. 左手すり（L：傾斜スイッチ）側も右と同様、コードを接続して裏側から③十字ボルト×１本で固定します。次に手すり下側の孔に六角ボルト④×1 本とワッシャー×1 枚で支柱に固定します。

ステップ６

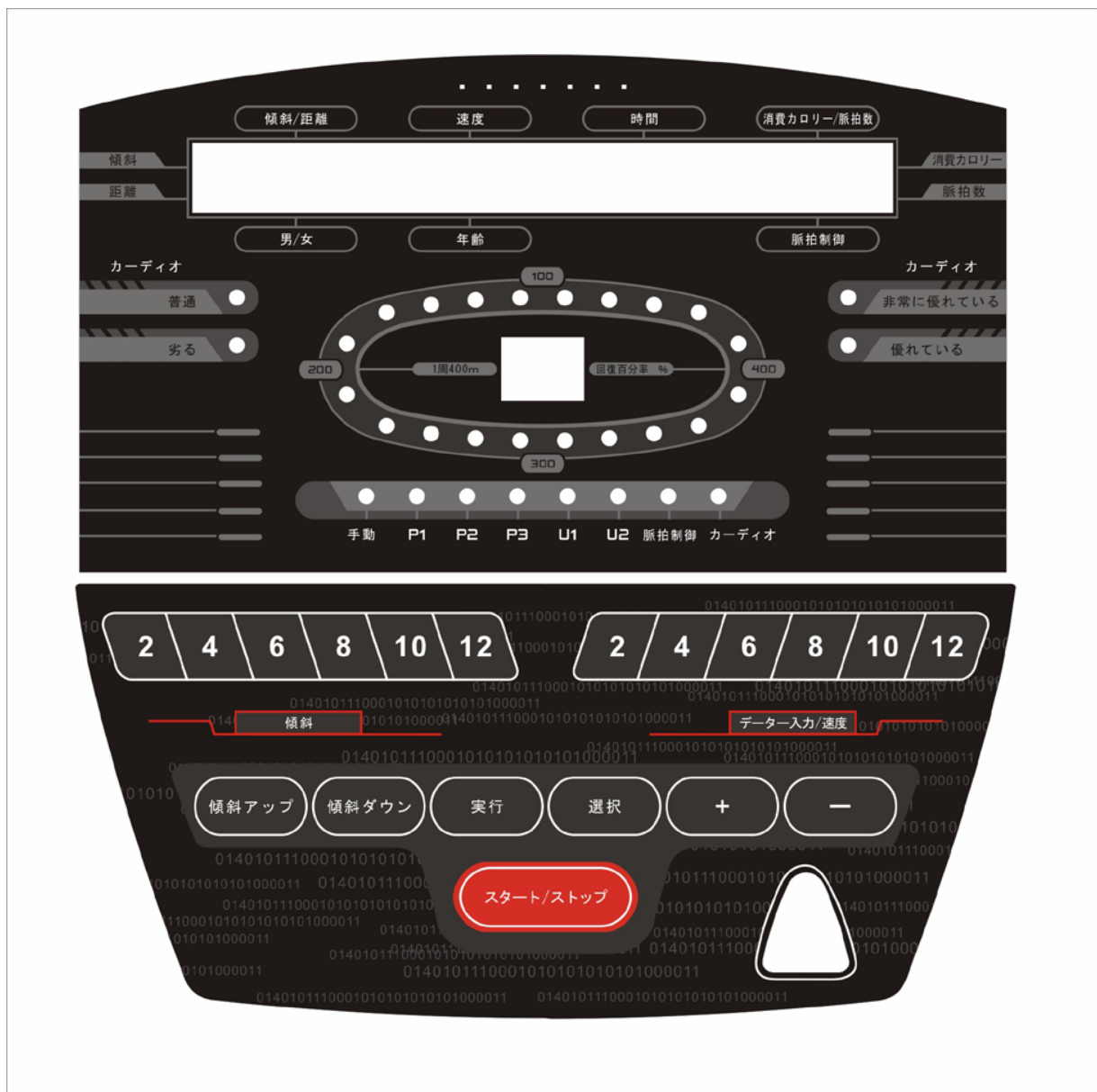
１.⑤ボルトキャップ×2 個を④の六角ボルトの六角部分に取り付けます。

- **全てのボルトを⑥5㎜　Ｌ型レンチと工具を使いしっかり固定（本締め）してぐらつきのないことを確認して下さい。**

これで完成です

コントロールパネルの見かた

- 傾斜：０～１６レベルを表示（０～約 4.4%：0～約 2.5 度）
- 距離：走行距離を 0.00～99.9km まで表示
- 速度：時速を 0.8～16km/h まで表示。（0.1km 単位で表示）
- 時間：時間を 0～99 分 59 秒まで表示
- 消費カロリー：おおよその消費カロリーを換算表示
- 脈拍数：1 分間の脈拍数を表示。（前手すりセンサー部の両側を握ると表示します。）
- 男/女：脈拍制御プログラム時に使用。
- 年齢：脈拍制御プログラム時に使用。
- 脈拍コントロール：脈拍制御プログラム時に使用。
- 400m トラック：スタートからの位置を表示。（1 ランプ 20m）
- プログラム：P1･P2･P3 は自動的に速度・傾斜が変化するプログラムです。

●操作ボタンの説明は P17 で説明します。

ヘルスジョガーについて

■　**ゆっくり歩きのトレーニングから軽いジョギングまで出来ます。**
本機は0.8km/hという超低速から16km/hまで速度を設定することが出来ます。お年寄りなどゆっくり歩きたい方から軽いジョギングをされる方までご使用いただけます。

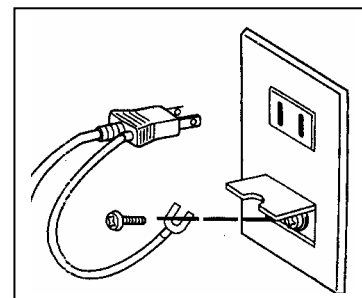
■　16段階の傾斜レベル　０～約2.5度でトレーニング出来ます。
ご自分の体力に合わせてトレーニングができます。

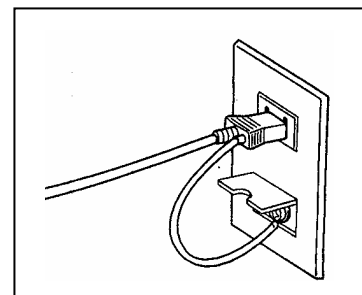
トレーニングの前に確認すること

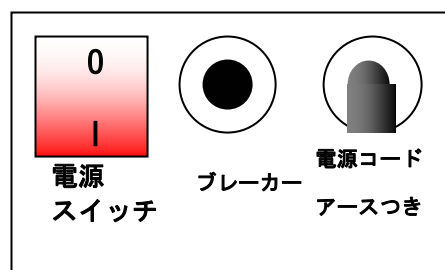
トレーニングをはじめる前に次のことを確認します。
（日常のトレーニング前にも以下の手順で点検を行ってください。）
安全キーが取り付けられているか確認します。
走行ベルトが動くか確認します。

電源スイッチを入れ、表示が見えるか確認する

1　アースを取り付ける

安全にご使用をいただくためにアースは必ず取り付けてください。
①電源コンセントにアース端子がある場合付属のアース端子を確実に取り付けます。
※アース線を接続するときは電源スイッチを必ず切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
②電源コードにアース線がない場合
電気工事店にご相談下さい。

2　電源プラグコンセントに差し込む

AC100V15A　単独回路にて使用してください。
※　延長コードを使用する場合は、3メートル以内1500W（ワット）のコードを使用してください。

3　電源スイッチをいれる。

①　電源スイッチは前方下、歩行デッキの前面にあります。
②　安全キーが正しくコントロールパネルにセットされているかどうか確認してください。（P13参照）

トレーニング前に確認すること

１．　電源スイッチを入れ
　安全キーをつけてコントロールパネルに０の表示が点灯するか
　安全キーはマグネットで固定されます。
２．サイドステップに立ち走行ベルトが作動するか確認する。

安全キーが正しい位置にないと、パネルの表示はしません。
トレーニング中に誤って転倒したり、ベルトから落ちたときのケガを防ぐ為、安全キーが外れるとベルトの回転が止まります。

操作手順はコントロールパネルの右側の「簡単操作」の手順に従ってください。
又、コントロールパネルの左側の『注意事項』を、ご理解の上ご使用下さい。

これでトレーニングをはじめる準備ができました。

操作手順　　簡単手動操作　（手動位置にランプ点灯）
１．サイドステップに立ち、安全キーを付け０の表示が点灯することを確認する。
２．スタートボタンを押し走行ベルトが低速で動いてからベルトに乗り、
　速度を　＋・－ボタンを押してスピードを決める
　傾斜角度は　傾斜アップ・ダウンボタンで決める
注意！傾斜ボタンで上げたり下げたりを連続的にしないでください。
　又、スピード＋ボタンと傾斜角度アップボタンを同時に押さないでください。
３．終了する時は、必ず傾斜を０に戻しスピードを 0.8 ㌔にさげてから
　ストップボタンを押す。　最後に電源スイッチを切る。
●　傾斜角度をつけたまま停止した場合は再度スタートさせ傾斜ダウンボタンで一番下まで下げてください。下がらない場合はＰ２６※部の操作をする。

お使いになるうちにベルトの片寄りや滑りを感じたら必ず調整してください。(P23 説明)

ベルトが片寄って、歩行しにくいとき
端にズレて接触している場合 → ベルトの片寄りを調整してください。

ベルトが滑って歩行しにくいとき → ベルトの張りを調整してください。

走行ベルトの寿命について　走行ベルトは消耗品です。
ご使用になるうちに徐々にベルトの裏面などが消耗（劣化）します。
消耗すると走行ベルトと歩行デッキの摩擦が大きくなり、モーターに掛かる負担が増えて、
安全装置が作動しやすくなりベルトが停止します。そのような場合には、
走行ベルトのお取替え（有償）をお勧めします。
取替え方法はそれほど難しくはございません。
出張修理となった場合は交換部品代及び作業工賃等などが必要となります。

トレーニングの服装

●運動に適した服装でトレーニングをしてください

1 服装、身なりを整える

運動に適した服装をしてください。
また、ひも類のない服装にしてください。
静電気のおきにくいトレーニングウェアーなど

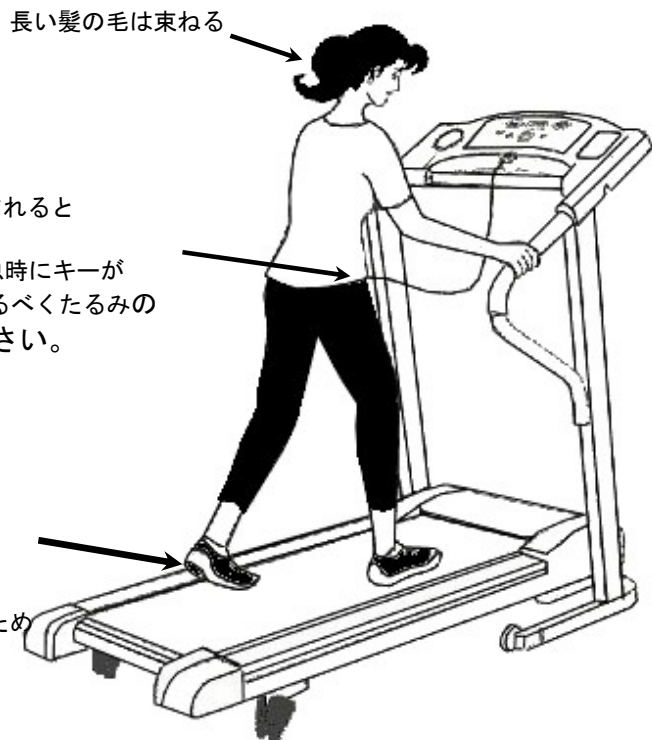
長い髪の毛は束ねてください。
※　転倒したとき、髪の毛などがベルトに巻き込まれると
　ケガの恐れがあります。
※　たるみの多い衣服に安全キー付けていると緊急時にキーが
　はずれにくいので、ひもの長さを調節し、なるべくたるみの
　少ない部分にクリップを取り付けてください。

歩行しやすい運動靴を使用

注意！

スリッパや草履は脱げやすく転倒しやすいため

必ず靴を履いてください

靴裏にローラーがあるものも禁止！

2 準備・整理運動をする

トレーニングの前に準備運動を、終わった後には整理運動をしましょう
※トレーニングの前と後の準備･整理運動(ストレッチ)は、筋肉の緊張をほぐし、筋肉疲労を早く回復させます。細く長く息を吐きながら、下図を参考にしてストレッチをしましょう。

肩と体側のストレッチ　股関節のストレッチ　太股のストレッチ　ふくらはぎのストレッチ

正しい歩き方

●正しい歩き方のポイントを参考にして、効果的なトレーニングをしましょう。

1 正しい姿勢

背筋を伸ばし、ベルトの中央で歩きます。前かがみにならないように、前をまっすぐ見ながら普段歩く姿勢で歩きます

2 手足の動かしかた

手：

慣れるまではハンドルを握って歩行してください。慣れてきたら、歩行するリズムに合わせて軽く振ります。

足：

やや歩幅を広めにとり、かかとから着地し、足裏全体に重心をかけ、最後は足の指先を立てるようにして歩きます。

●次のような歩き方はしないでください。機器の故障の原因になります。

つっぱり歩き：
両手でハンドルを握り、両足でベルトにつっぱり、ベルトの動きに逆行する歩き方
一時的にベルトに大きな負荷がかかり故障の原因になります。

はし歩き：
ベルトの左右、どちらかのはし側ばかり歩く歩き方
ベルトの片寄りの原因になります。

蹴り歩き：
ベルトの速度よりも速い歩き方一時的にベルトに大きな負荷がかかり故障の原因になります。

コントロールパネルの名称と機能

① 傾斜／距離：傾斜ランプ／距離ランプ　（約５秒ごと交互に表示）

●傾斜ランプ点灯時は傾斜レベルを表示します。Ｐ１・２・３の使用時のステップＮＯを表示

（0～16 レベル・7 の表示は約 1 度・13 の表示は約 2 度・16 の表示は約 2.5 度）

●距離ランプ点灯時は走行距離を１０ｍ単位で表示します。

（走行距離を 0.01～99.9km まで表示。距離を設定（100m単位）した場合減算表示）

② 速度・・時速を約 0.8～約 16km まで表示します。（0.1km 単位で表示）

③ 時間・・時間を 0～99 分 59 秒まで表示します。

（時間を設定（１分単位）した場合減算表示。）

④ 消費カロリー／脈拍数：消費カロリーランプ／脈拍数ランプ

●消費カロリーランプ点灯時は消費カロリーを表示します。

（消費カロリーを設定（１キロカロリー）した場合減算表示）

●脈拍数ランプ点灯時は脈拍数を表示。（４０～２５０　設定１単位）

（脈拍センサーに両手で軽く握ってください。）

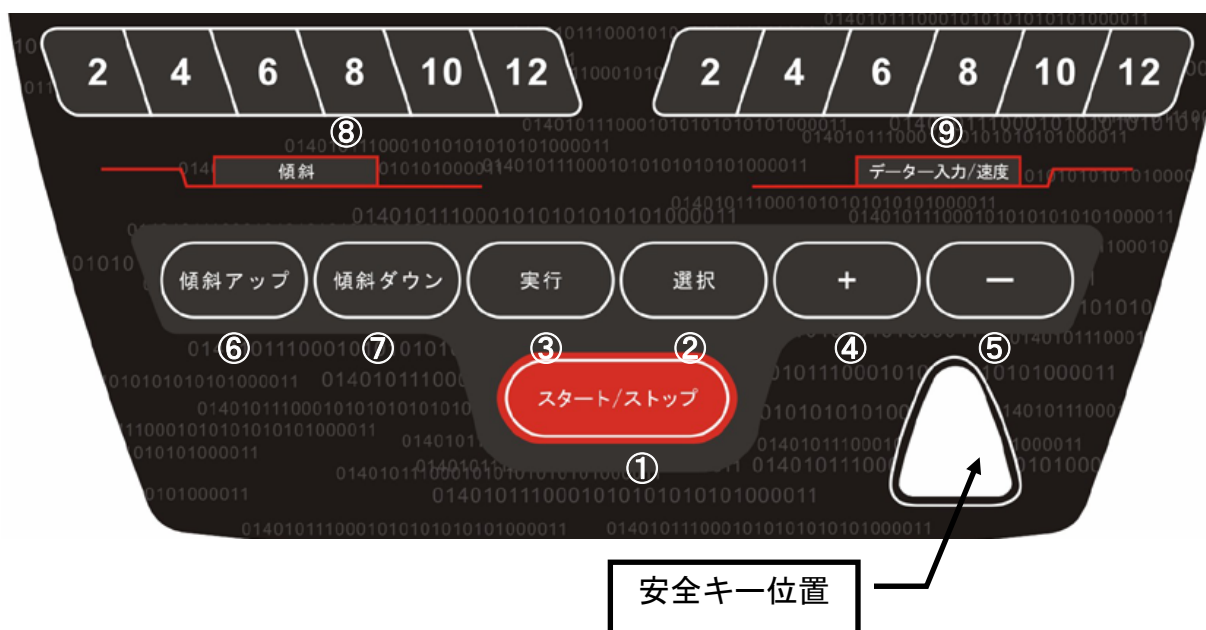
⑤ 400mトラック表示は、周回数を表示します。

●ランプは、スタートからの位置を表示。１ランプ２０メートル単位で表示

⑥ 男／女・・カーディオプログラム時に使用。男性は１　女性は２表示。

⑦ 年齢・･脈拍制御：カーディオプログラム時に使用。

⑧ 脈拍コントロール・・カーディオプログラム時に脈拍数を表示します。

操作ボタンの説明

操作ボタンの説明

①スタート/ストップ	走行ベルトのスタート･ストップボタン。
②　　選択	表示機能（各プログラム）の切り換えボタン。
③　　実行	入力後の決定ボタン。プログラム入力決定時に押す。
④　　＋	スピードを早くするボタン。プログラムデーター入力時に使用。
⑤　　－	スピードを遅くするボタン。プログラムデーター入力時に使用。
⑥　傾斜アップ	傾斜レベルを上げるボタン。プログラム傾斜入力時に使用。
⑦　傾斜ダウン	傾斜レベルを下げるボタン。プログラム傾斜入力時に使用。
⑧クイックスタート 傾斜レベルボタン	２を押すと傾斜レベルが２となり傾斜が上がります ６を押すと傾斜レベルが６となり傾斜が上がります １０を押すと傾斜レベルが１０となり傾斜が上がります
⑨クイックスタート 速度ボタン	４を押すと時速４キロメートルで走行ベルトが動きます ８を押すと時速８キロメートルで走行ベルトが動きます １２を押すと時速１２キロメートルで走行ベルトが動きます

注意！スピードボタンと傾斜角度ボタン等ボタンは同時に押さないでください。

● **安全キー**：非常停止機能･正しい位置においてください。
外れますと、電源が切れ機能は停止します。

◆ このキーはあくまでも緊急用ですので通常の運動時の停止には使用しないでください。

※　傾斜角度強制操作方法

傾斜が上がったままで下に下がらない場合

⑦傾斜ダウンボタンと③実行ボタンを同時に押し下位置へ下げる。再度通常通りスタートし傾斜アップ・ダウンするかを確認願います。

★　**手すり部でもスピード・傾斜角度の操作が可能です。**

１０分間　オートプログラムの説明・・Ｐ１：Ｐ２：Ｐ３

（速度・傾斜データー入力済み　）

注意：自動的に速度が変化するプログラムです。
速度が変わるとき手すりを持つなどして注意してください。

●Ｐ１：Ｐ２：Ｐ３は、１分ごとに速度・傾斜が変わり１０分後に止まります。

●入力済みの速度・傾斜データー表（０～９の 10 ｽﾃｯﾌﾟ）を良く確認の上、ご使用下さい。

◎ 使用中に速度・傾斜を任意に変更するは出来ますが、データーを変更することは出来ません。
又、任意で変更した場合は、次のステップではプログラム通りにもどります。

プログラム操作　操作時はサイドステップに立ってください。

１:安全キーを所定の場所に置きます｡約５秒後に０表示及び各ランプの点灯を確認します。

２：『Ｐ１』・・選択ボタンを１回押します。手動ランプからＰ１ランプに変わります。
スタートボタンを押します。Ｐ１のプログラムデーター数値で動き始めます。

３：『Ｐ２』・・選択ボタンを２回押します。手動ランプからＰ２ランプに変わります。
スタートボタンを押します。Ｐ２のプログラムデーター数値で動き始めます。

４：『Ｐ３』・・選択ボタンを３回押します。手動ランプからＰ３ランプに変わります。
スタートボタンを押します。Ｐ３のプログラムデーター数値で動き始めます。

●　Ｐ１～Ｐ３の速度・傾斜入力済みデーター表

Ｐ１（プログラム 1）

ステップ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
速度（ｷﾛ）	2	4	6	8	10	12	10	6	4	2
傾斜段階	1	2	3	4	6	8	10	11	3	0

Ｐ２（プログラム２）

ステップ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
速度（ｷﾛ）	2	4	10	6	10	6	10	6	10	6
傾斜段階	1	3	2	8	3	8	3	8	3	8

Ｐ３（プログラム３）

ステップ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
速度（ｷﾛ）	4	4	6	8	10	6	8	10	8	4
傾斜段階	1	2	1	3	4	3	2	3	4	3

傾斜レベル表

表示数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
角度	0	0.1	0.3	0.4	0.6	0.7	0.9	1.0	1.2	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.19	2.3	2.5

Ｕ１：Ｕ２（ユーザープログラム）の作成

● ユーザープログラムは工場出荷時は下記の表の通りになっています。
０～９の１０ステップに、スピードと傾斜段数をご自分で入力して、
Ｕ１とＵ２の２種類の運動プログラムを作成することができます。

ユーザープログラムの作り方　注意：サイドステップに立って入力して下さい。

● ０～９ステップに入力終了後スタートボタンを押すと走行ベルトが作動します。
入力途中でもスタートすることができますが、プログラムは完全に入力されません。

① 電源を入れ安全キーをセットします。操作時はサイドステップに立って入力して下さい。

② 選択キーを押して、Ｕ１かＵ２位置にして実行ボタンを押します。

③ 周回数窓に０点滅します。（０ステップの入力です）実行ボタンを押します。

④ 時間窓が点滅します。データー入力　＋－ボタンで 5 分～99 分の範囲で設定し
実行ボタンを押します。（この時間が運動総合時間となりこの時間が１０等分されます。）
時間設定は０ステップの時のみです。

例　１０分を入力すると各ステップ（０～９）が１分ごとにステップが移行していきます。

⑤ 速度窓が点滅します。データー入力＋－ボタンで時速 0.8ｋ/h～16ｋ/h の範囲で
設定し実行ボタンを押します。

⑥ 傾斜窓が点滅します。傾斜アップ：傾斜ダウンボタンで傾斜レベル０～１６の範囲で
設定し実行ボタンを押します。

これで『０ステップ』のデーター入力が終わり、次に実行ボタンを押します
周回数窓に０が点滅します。データー入力＋ボタンを押し表示を１にします。

★ 実行ボタンを押します。→⑤速度窓が点滅します。データー入力＋－ボタンで時速設定。
実行ボタンを押します。→⑥傾斜窓が点滅します。データー入力＋－ボタンで傾斜設定。
次に実行ボタンを押しますと周回数窓に１が点滅します
データー入力＋ボタンを押し表示を２にします。★へ続く
これを繰り返し３～９ステップのデーター入力しスタートボタンにて運動開始です。

●ステップＮＯ の切り替えは周回数窓が点滅した時に＋－ボタンで変更できます。

●Ｕ２の入力も同じようにデーター入力してください。

●入力したデータは、再入力しない限り安全キーを外したり・電源を切ってもリセット
されません。

●運動途中で変更したい場合はＳＴＯＰボタンを押してから実行ボタンを押し★を繰り消す。

初期段階のユーザープログラムは下記の通りになっております。工場出荷時

ステップ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
速度（㌔）	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
傾斜段階	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

傾斜レベル表　{表示される傾斜段数は下記の通りの角度です}

表示数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
角度	0	0.1	0.3	0.4	0.6	0.7	0.9	1.0	1.2	1.4	1.5	1.7	1.8	2.0	2.19	2.3	2.5

脈 拍 制 御 の 操作方法

特長・・脈拍の測定数値が目標脈拍数より多く感知しますと速度２キロずつ下がります。

● 設定した脈拍数より数値が低い場合は任意で＋ボタンあで速度を上げてください
速度は自動的には上がりません

重要：このプログラムは一般的な年齢別運動強度と脈拍数の関係を
最大心拍数＝２２０－年齢×負荷強度８０％でデーター入力してあります。

注意：個人差がありますが、始めのうちはデーター数値より１０～１５％差引いて
運動してください。
最大脈拍数の８５％　最大負荷　これ以上に脈拍が上がらないように！
最大脈拍数の６５％　最小負荷

例　年齢４０歳で負荷強度７０％の場合　２２０－４０×７０％＝１２６

１：電源を入れ安全キーをセットします。操作時はサイドステップに立って入力して下さい。
２：選択キーを押してプログラムランプ位置を脈拍制御にして、実行ボタンを押します。
３：速度窓が点滅します。データー入力＋－ボタンでご自分の年齢を入力します。
同時に脈拍数も表示します。実行ボタンを押します。
４：脈拍窓が点滅します。データー入力＋－ボタンでご自分の目標脈拍数を入力します。
５：スタートボタンを押して、速度・傾斜を決め脈拍センサーに手を置き運動します。

カーディオの操作方法

**重要：この測定はスピードが６キロで、傾斜角度が約１度で作動いたしますので
その負荷で運動ができない方はご使用は避けてください！**

●このプログラムは脈拍機能（全身持久性）を評価するものですが、簡易測定の為
病院の健康診断やトレーニングジムでの判定と異なります。
目安として判断してください。

◎ 測定表示は、運動後３分間休んだ後の回復率を表示し、判断しております。

**注意１　日頃運動している人、してない人・体重等により個人差があります。
測定後周回数に表示される数値は年齢での平均値の目安として判断してください。**

注意２　測定時は必ず脈拍センサーを両手で握ったままで運動してください。

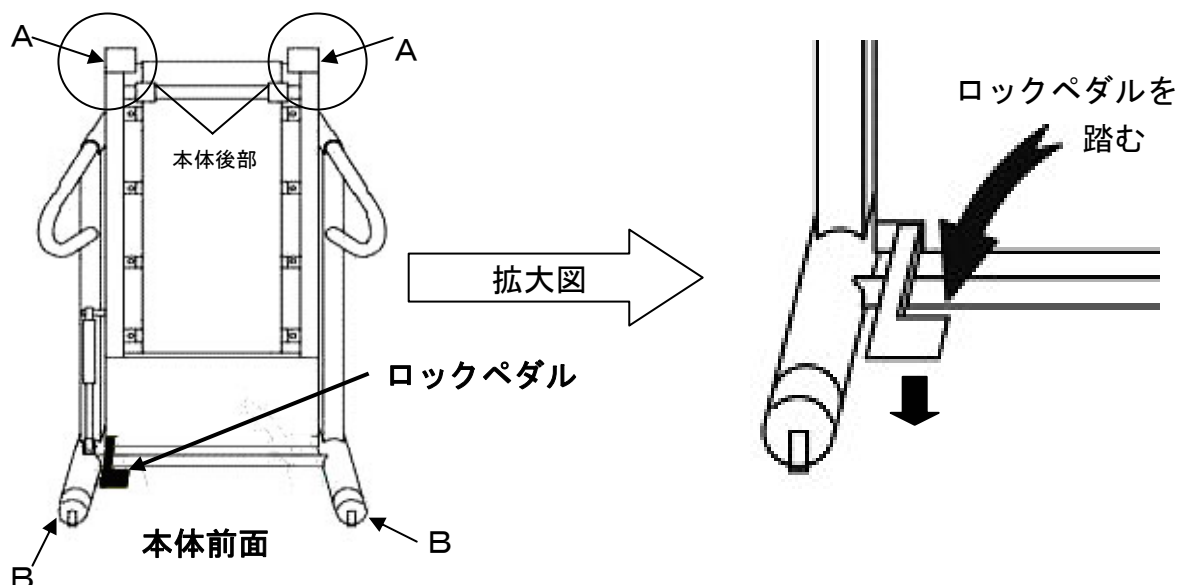
１：電源を入れ安全キーをセットします。操作時はサイドステップに立って入力して下さい。
２：選択キーを押してプログラムランプ位置をカーディオにして、実行ボタンを押します。
周回数窓に１と表示します。
３：傾斜窓が点滅します。データー入力＋－ボタンで１は男性、２は女性を入力します。
実行ボタンを押します。
４：速度窓が点滅します。データー入力＋－ボタンでご自分の年齢を入力します。
５：スタートボタンを押して、周回数窓に２と表示します。ベルトが動いてから乗ってください。
脈拍センサーを握ります。判定が終了するまで両手を離さないでください。（５０秒ほど）
６：脈拍検知したら、周回数窓に３と表示します。走行ベルトが動きます。
３～４分間運動（ｶｳﾝﾄﾀﾞｳﾝ）してから、周回数窓に４と表示して走行ベルトが停止します。
７：そのまま脈拍センサーを３分間握って下さい。３分後に簡易判定を表示します。

走行面の収納と本体の移動方法

必ず傾斜レベルを０‘ゼロ’にしてから折りたたんでください。
折りたたむ時は電源プラグはコンセントから抜いて下さい！

警　告

本体を設置する場所が硬い床で平坦な所であるかを確認してください。
床面が傾斜になっていると折りたたむ時に商品が突然倒れたり運動中に、
走行ベルトが左右にずれやすくなり、ケガを負う恐れがありますので、
十分にご確認の上ご使用お願い致します。

注意

本体（走行面）を折りたたむ時

- 本体後部Ａ部を両手でゆっくりと持ち上げ､｢カチッ｣と音がするまで折り畳んでください。折りたたんだ際に走行面が倒れてこないことを確認願います。

持ち上げる際に走行面と手すりの間で手をはさまないように注意してください。

本体（走行面）を下ろす時

- 両手で本体後部Ａをささえ、本体前面のロックペダルを踏み、ロックを解除してゆっくり走行部を下ろします。

※本体フレームを下ろしている途中の位置で手を離さないで下さい。倒れる危険性があります。
※手や足などを挟まないように注意してください。

本体フレームを移動する時

・　両手でＡ部をしっかりささえ、脚部Ｂをどちらかの足で踏み底を支点にゆっくり後方へ倒す　ある程度傾けますと脚部キャスターで移動が可能になります
手すり部を持つと手を挟むことがございますので十分注意願います。

お手入れと整備

⚠ 警告　修理、清掃をする前に必ず電源コンセントを抜いてください。

《お手入れ》

走行板や走行ベルトが汚れると、摩擦が増大して本来の性能を維持できなくなりますので、定期的に清掃を行ってください。

（イ）走行板 ― やわらかい乾いた布で走行板の上･走行ベルトの裏のホコリやシリコンのカスを拭きとってください。その後シリコンを板中央部に噴霧してください。

重 要

（ロ）本体やフレームの汚れは布に石鹸水を含ませ、よく絞って拭き取り、そのあと乾いた布でよく拭き取ってください。シンナー、ベンジン、ガソリン、磨き粉などで拭かないでください。内部が故障したり、プラスチックや金属部分の変質、ひび割れなどの原因になります。とくに金属部分についた汗は乾いた布でよく拭き取ってください。サビが出たり塗装がはがれる原因となります。

（ハ）モーターカバー内のホコリも 2～3 ヶ月に 1 度モーターカバーをプラスのドライバーで開けて、モーターや IC 基盤に付いたホコリを掃除機で取ってください。（基盤の配線の接続ゆるみがないか確認してください。：指で配線を押えてください）

走行板の潤滑方法

● 歩行面の潤滑

本製品は工場出荷時、走行面に潤滑剤が噴霧されております。
しかし、ご使用されるにつれ走行板表面･走行ベルト裏が乾燥又は汚れてくると摩擦が増大して本来の性能を維持できなくなりますので定期的に、清掃と潤滑剤の噴霧が必要になります。
季節･ご使用頻度･お部屋の環境･温度･湿度･ご使用者の体重･蹴り方等によって異なりますのでご使用条件に合わせて清掃及び潤滑剤の噴霧をお願い致します。

● 歩行面の清掃と潤滑剤（シリコンスプレー）の噴霧方法

走行ベルトを持ち上げ板の表面とベルトの裏側をきれいに拭いてください。
◈拭き取りにくい場合は走行ベルトを弛めてください。ベルトの張り調整方法参照
走行ベルトの端を持ち上げ潤滑剤を走行板表面に（歩行する位置全体･できるだけ中央部奥の方）左右両側から噴霧してください。
１箇所の噴霧時間は 4～5 秒ぐらいが適当ですが、乾燥の度合いにより量を調整してください。

潤滑剤（シリコン）の噴霧目安
◈ ご使用後に走行板表面（中央部）を手で触れてみてどの程度乾燥しているかを確認する。
　はじめの１週間毎日確認していただき目安の噴霧日数を決める。

標準の噴霧目安（家庭にて使用の場合）１週間以上使用しない場合使用前に必ず噴霧してください。
Ａ　毎日 5～30 分ご使用の場合 ………………… 4～5 日使用前に噴霧する。
Ｂ　毎日 30 分以上ご使用の場合 ………………… 2～3 日使用前に噴霧する。
Ｃ　毎日 60 分以上ご使用の場合 ………………… 毎回使用前に噴霧する。

注 意　潤滑剤を多量に噴霧するとマシンの機能にかえって悪影響を与えます。粘りつくほど噴霧しないでください。粘りついた場合はペーパータオル等で拭きとってください。

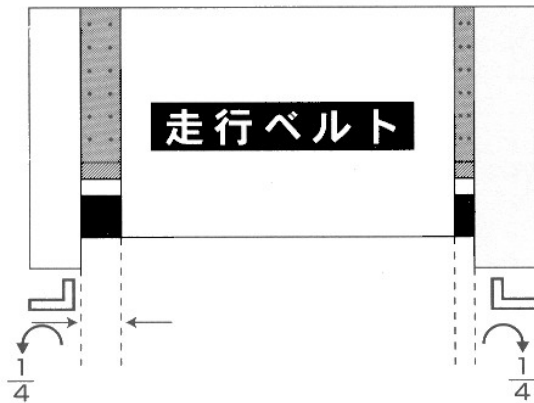
◇ 潤滑剤（シリコンスプレー）がなくなった場合はお近くのホームセンター等でお求めください。
〈ミシン･編機の道糸記入の物。〉
× ＫＵＲＥ556･ＣＲＣ等はべとついて、ゴミが付着しやすいため、かえって滑りを悪くしますのでご使用しないでください。
モーターカバー内の電気部品及び金属部分に水滴等が付着しないようにしてください。
★ 整備をしていただくことにより製品の寿命も長くなります。

走行ベルト調整方法

走行ベルトの張りは、製造工程で適切に調整して出荷していますが、輸送中や平らでない場所での使用、また使用者の歩き方によってずれたり、長期間の使用によって伸びることがあります。
トレーニングの前には必ずベルトの走行状態を確認し、もし左右のずれやのびがあれば以下の手順にそって走行ベルトの調整を実施してください。

《ベルトが左右どちらかにずれている場合》

1 約 2~3k/h の速度で調整してください。
(初めは乗らないでください。)

2 ベルトが中央部分にもどり、約 30 秒間その状態が続いていればベルトのかたより調節は必要ありません。もしベルトが左右ずれたままの場合は、すぐに適切な調節をおこなってください。

3 ベルトが右側にかたよっている場合は、付属の六角レンチを使って、右側の後部ローラーの調整ボルトを、右回し（時計回り）に 1/4 回転、左側を左回し（反時計回り）に 1/4 回転させてください。

⚠ 注意

⊘ 一度に 1/4 回転より大きくレンチを回さないでください。

ベルトが左側にかたよっている場合は、逆に左の後部ローラーの調整ボルトを、右回し（時計回り）に 1/4 回転、右側を左回し（反時計回り）に 1/4 回転させてください。

4 調節した後 15 秒位いでベルトが中心の位置にならない場合、3 番の手順を繰り返ししてください。

《走行ベルトがすべる（スリップする）場合》

1 走行板及び走行ベルト裏のよごれをよく拭き取ってから、ベルトを手で上げて走行板中央部にシリコンを噴霧をしてください。

2 付属の六角レンチを使って、左右両側の後部ローラーの調整ボルトを、右回し(時計回り)1/4 回転ずつまわしベルトを均等に張ってください。
ゆるめる場合は左へまわす。

3 ベルトを作動させ歩行（時速２－３Ｋｍ）し、ベルトの張り具合をチェックしてみてください。そして前項の 1~4 の左右の位置の調整をおこなってください。

4 モーターＶベルトの調節
走行ベルトを調節しても、走行ベルトがすべるようでしたら、モーターのＶベルトのゆるみが考えられます。
モーターカバーを開けて、モーターを取り付けてあるボルト、ナットをゆるめ、モーターを少し移動して、Vベルトの張り調節してください。
（モーター取り付けボルト、ナットはしっかり締めてください。）

⚠ 注意

⊘ 過度に走行ベルトを張りすぎないでください。ベルトの破損や前後ローラーのベアリングをいためる原因になります。走行ベルトの張り具合はベルトの中央部を（左右）持ち上げて 5~7cm が目安です。歩き方に個人差がありますので微調整をお願いします。

❗ 走行ベルトは消耗品となりますので必ず適切な調整をおこなってください。

トラブルがおきたら

トラブル	チェックポイント	対　　処
● 走行ベルトが動かない。 ○ タコ足配線はやめてください。 ○ コンセントに AC100V15A の容量はありますか？	● 電源コートが差し込まれているか？ ● 安全キーが正確にセットされているか？ ● 電源スイッチを入れ直す。 ● その他電気配線の接続不良？ ● 容量不十分の延長コード	● 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。 ● 安全キーを指定位置に置く。 ●電源スイッチを入れ直す。 ● 配線の接続（スイッチ部等）してください。 ● 直接電源を取る。
● ランニング中に、ベルトが止まったような感じがする。	● 走行ベルトにゴミやホコリを巻き込んでいませんか？ ● 走行ベルトとボードの間の潤滑油が乾いていませんか？ ● 走行ベルトの張り具合をチェックしてください。	● ベルトを規定の張りに調整してください。 ● 専用の潤滑油を塗布してください。 （シリコン液ドライタイプを使用）
● 走行ベルトが走行板の中心からずれている。	● 走行ベルトの張り具合をチェックしてください。	● 走行ベルトの位置調整。
● 本体の下に黒いものが落ちている。	● 走行ベルトが使用になじんできた。靴裏のゴム飛散	● マシンの下を周期的に掃除機をかける。
● 本体から音がする。	● 止めネジの弛みはないか確認。	●ネジを締め直す。
● スピード調整がきかない。	● スピード調整部分が壊れている。 ● 制御回路の故障または断線。	● スピード調整部分に異常がないか確認。 ● 販売店へ連絡。（部品交換）
● 非常停止がきかない。	● 制御回路の故障または断線。	● 販売店へ連絡。
● 電源が入らない。	● 電源コードが断線している。 ● メイン基盤の電線接触が悪い。 ● ブレーカーが飛んでいませんか？	● 電源コードの確認。（部品交換） ● メイン基盤の電線を確認。（部品交換） ● 再整備をする。
● メーター表示がでない。	● 安全キーが正確にセットされているか？ ● メーターの距離やスピードの表示がでない。	● 安全キーを確実に置く。 ● モーターカバー内センサー部分の接続を確認してください。
●速度が表示より遅い？ ●走行ベルトが数秒で停止する。 ●ＥＲ－１の表示がでる	●スピードセンサー部異常 ●モーターメイン基盤異常 ●ＥＲ－２の表示がでる	●Ｐ２５エラー１参照 ●販売店へ連絡。 ●
●傾斜角度がさがらない。 ●ＥＲ－２の表示がでる	●傾斜角度モーター動作異常。	●Ｐ２６エラー２参照 ●販売店へ連絡。

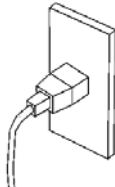
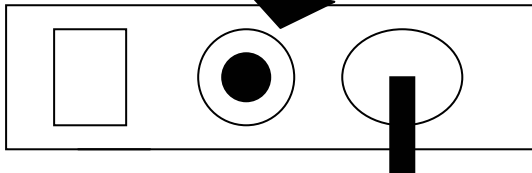
注意

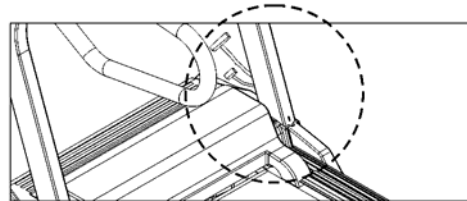
☆ 走行ベルトが走行板の中心に調整されてない場合は、ベルトを損傷しトラブルの原因になりますのでご注意ください。

※ 走行ベルトは消耗品のため、保守点検を必ず行ってください。

トラブルシューティング

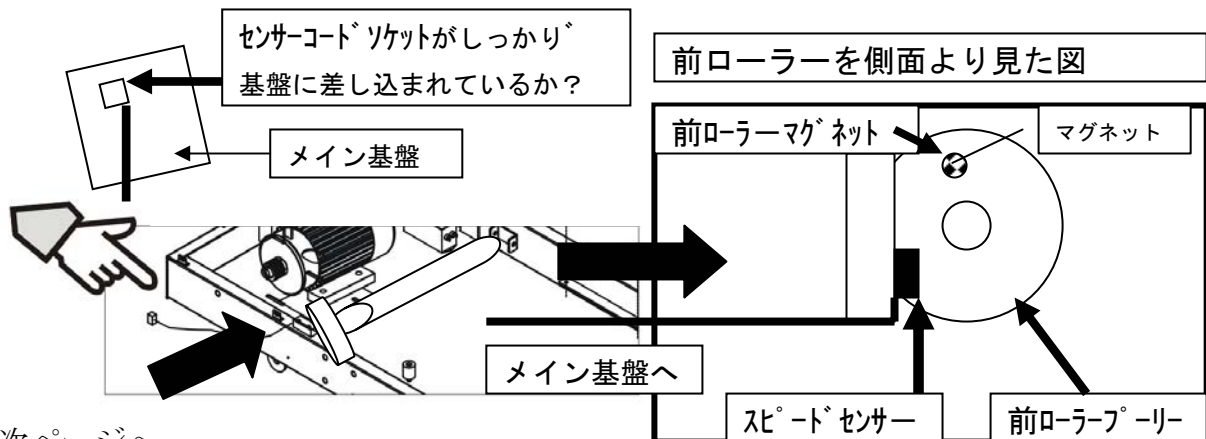
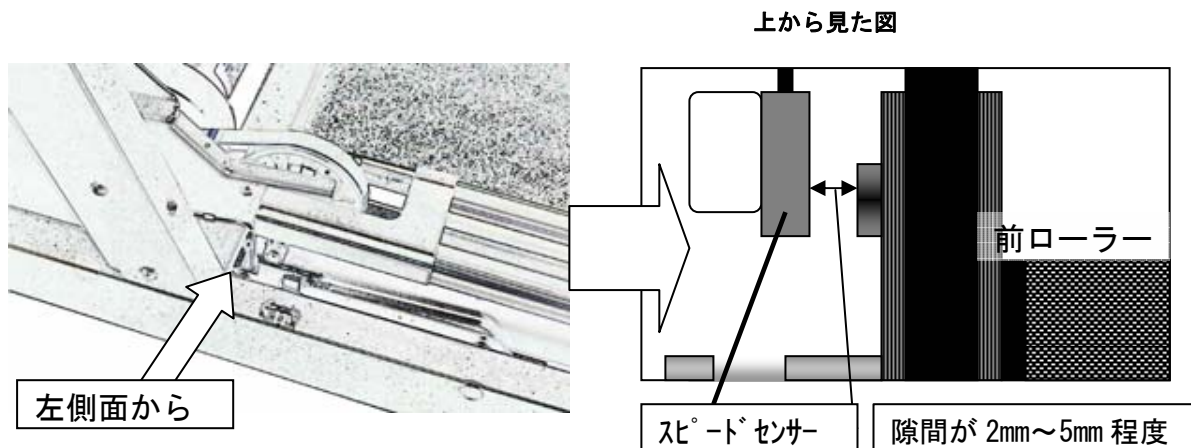
モニターの表示が点灯しない時？？

①電源コードが適切にコンセントに
差し込んであるか確認して下さい。

③安全キーがモニターの指定位置に
置いてあるか確認して下さい。

④右支柱の下の配線コネクターが
しっかりはまっているか確認して下さい。

走行ベルトが動かない？　　3 秒間ほど動いてから止まる？？
又は、モニターに‘ER__1’と表示された時
〔 Ｅ R__1はモーター動作に関するエラーです〕

①前方下のモーターカバーを外して下図のスピードセンサーの断線、またはスピードセンサーの配線
がメイン基盤に確実に接続されているか？を確認して下さい。

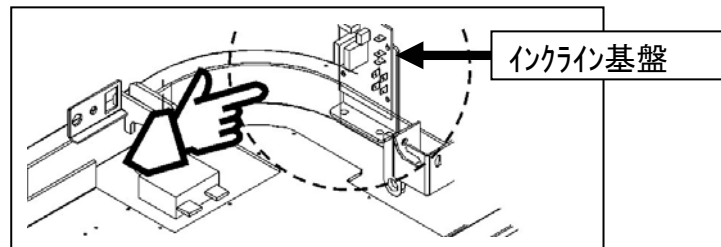
スピードセンサーのコードが断線したり、端子の弛みにて接触不良を起こした場合や
スピードを検知しているマグネットが外れたり　検知距離が遠ざかった場合

次ページへ

②図のスピードセンサーと前ローラーに埋め込んであるマグネットとの隙間を確認して下さい（2mm～5mm 程度）。運動時の振動などでセンサーとマグネットの距離が離れてしまうと検知しないため読み取れません。

傾斜角度が作動しない上がらない・下がらない？
又は、モニターに‘ER__2’と表示された時？
〔ER__2は傾斜角度の動作に関するエラーです〕

※

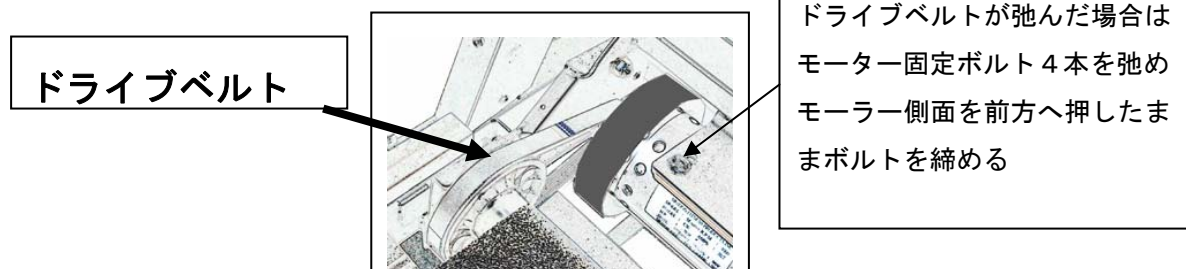
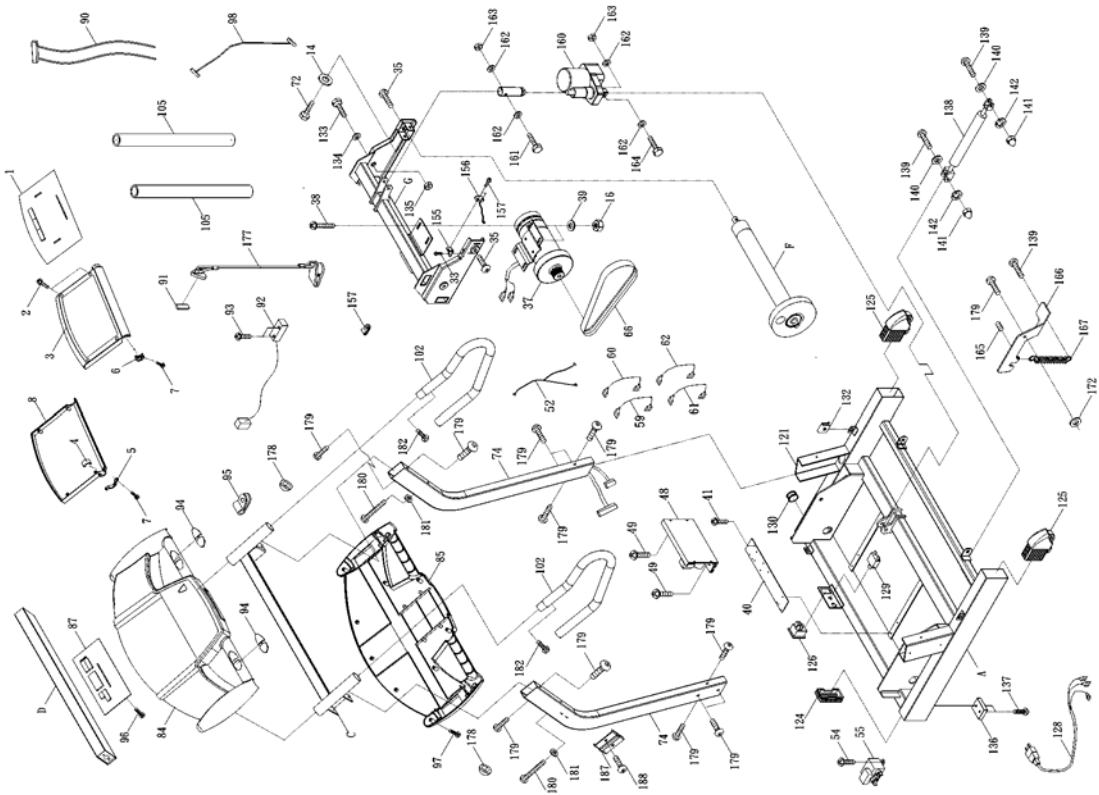
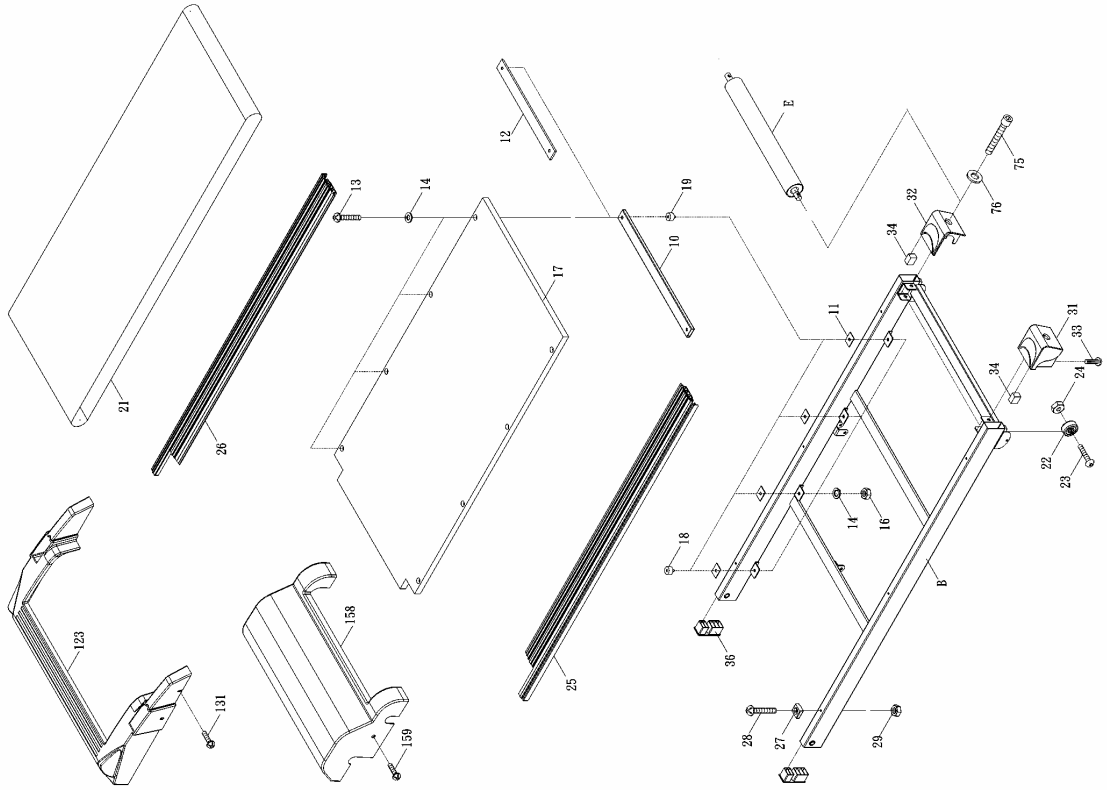
① 傾斜位置が上に上がっている場合は実行ボタンと傾斜ダウンボタンを同時に押し一番下へ下げるスタートボタンを押し作動するかを確認する。上昇させる場合は実行ボタンと傾斜ダウンボタンを同時に押す。下降位置にて作動しない場合は②へ

②前方下のモーターカバーを外して配線の抜け、弛み等はないか確認して下さい。

③インクライン基盤・メイン基盤に接続されている配線をもう一度差し込み直す。

走行ベルトがスリップ？又は蛇行（左右にズレる）した時

① 走行ベルトの調整方法 P23 を参照し調整を行ってください。
調整しても直らない場合は下記の調整を行ってください。

②モータードライブベルトの調整はモーターカバーを外しモーターと前ローラーに掛かっているドライブベルトベルトが弛んでいないか確認して下さい。

ドライブベルトが弛んだ場合はモーター固定ボルト４本を弛めモーラー側面を前方へ押したままボルトを締める

部 品 展 開 図

仕　様

名　　称	ヘルスジョガー
形　　式	HJ−8642
電　　源	AC100V. 15A 50/60Hz.
傾斜角度	0〜4.4%(2.5 度)電動式
設定速度	約 0. 8〜 16.0Km/h
時　　間	カウントアップ：0.00〜99 分 59 秒 カウントダウン：99 分 00 秒〜0 分 00 秒
距　　離	積算表示：0.00 〜 99.99Km (99.9Km を越えると 0.00Km に戻りカウントを継続)
消費カロリー	積算表示：0 〜 999kcal 減算表示：990〜0kcal
緊急停止用安全キー	マグネットスイッチ
走行面寸法	幅約 490 x 長さ約 1510mm
外形寸法	使用時　：幅約 820 x 長さ約 1970 x 高さ約 1280mm 収納時　：幅約 820 x 長さ約 860 x 高さ約 1650mm
質　　量	約 101Kg（本体のみ）
最大使用体重	120Kg まで
使用環境温湿度	+10 〜 35 度 C : 30 〜 80%RH
保存環境温湿度	10 〜 +50 度 C : 20 〜 90%RH
運動目標設定機能 【カウントダウン】	時間 : 1 分 00 秒〜99 分 00 秒(目標時間に達したとき、走行ベルトが止まります。) 距離：0.5Km 〜 99.5Km (目標時間に達したとき、走行ベルトが止まります。）
アラーム機能	コントロールユニットにランプが点灯したとき。 運動目標数値に達する５秒前から終了時まで。
使用ﾓｰﾀｰ	ＤＣ９０Ｖ　２．５ＨＰ
収　　納	折りたたみ式収納　収納時　：幅約 820 x 長さ約 860 x 高さ約 1650mm
付属品	六角レンチ、レンチ、安全キー、シリコン缶、取扱説明書(品質保証書付き)

✱ お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

保証規定（家庭用）

1.) 取扱説明書にしたがった正常な使用状態で、お買い上げ後１年以内に故障した場合には無償修理いたします。
2.) 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に本書を添えてご購入店または(株)中旺ヘルスへ依頼または送付してください。
3.) 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
   (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損害。
   (ニ) 本書の提示がない場合。
   (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   (ヘ) 消耗品(ベルト)。
   (ト) 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
   (チ) 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
   (リ) 営業、業務用に使用した場合による故障および損傷。
4.) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
5.) この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品　質　保　証　書

このたびは、中旺ヘルス健康機器を、お買い求めいただきありがとうございました。本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、一年間は無償修理いたします。

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。
This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印していただいてください。

品 名： ヘルス ジョガー

形 式： HJ-8642

ご芳名：

ご住所：

Tel.　(　)

お買い上げ店名：

㊞

住所：

Tel.　(　)

お買い上げ年月日：　年　月　日

シリアル No.

中旺ヘルス製品についてのお問い合わせ ● ご相談は「中旺ヘルスお客様相談センター」

本社： 〒452-0011 **愛知県清須市西枇杷島町城並 3 丁目** 2-2
E-mail : hj@jp-chuoh.com
URL : www.jp-chuoh.com
TEL : (052)501-2577
FAX : (052)501-2588
東京営業所： TEL : (03)3835-4399

☆　　設置時の重要事項　　お願い　

お客様へのお願い

このたびは、ヘルスジョガーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本機を正しく、安全にご使用いただくために取り扱い説明書・下記事項を必ず
お読みください。

電　源

◆　コンセントには必ず　AC100V　15A の専用回路をご使用ください。
電圧の低下や同じ回路内で他の電化製品をご使用されますと、本機の電力が低下し
動作不良（ブレーカー・ヒューズが飛び・速度低下等）を起こすことがあります。
電子部品が早く消耗いたします。
延長コードが必要の場合は３ｍ以内のもの（１５００W用）をご使用ください。
リールコード等長い延長コードをご使用されますと、電圧低下の原因となります。
１００Ｖ電圧の変動が多い場合は、２００Ｖ電源回路でのご使用をおすすめ致します。
その場合専用トランス（別売）も必要となります。

◆　コンセント先のアースは必ず接続してください。
・静電気防止・電子部品保護のため、電気工事店様等へご依頼ください。

使用時間

◆　連続で1時間近くご使用される場合又は、ご使用頻度が多い場合は
整備・清掃の（潤滑剤の噴霧）頻度を高めてください。
走行ベルトの滑りが悪くなりますと駆動部品に負担がかかり、電子部品に熱を持ち
早く老化・消耗致します。又、長時間未使用の場合、ご使用前に必ず整備をしてください。
整備・清掃は説明書参照

走行ベルトの調整

◆　走行ベルトは工場出荷時に調整してありますが、歩き方やご使用頻度により、
少しずつずれることがありますので必ず調整を行ってください。説明書参照
設置面が畳や毛足の長いジュータン等本機が沈み左右に傾く可能性のある場合は
走行ベルトがずれやすくなりますので、必ず硬い床面に設置願います。

〒452-0011
愛知県清須市西枇杷島町城並 3-2-2
㈱中旺ヘルス
ＴＥＬ０５２－５０１－２５７７
ＦＡＸ０５２－５０１－２５８８